

2019年度事業報告書

(認定/埼玉県指定)特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPAN

事業実施の方針

- ・アジア特にラオス、タイ及びネパールの人々の経済的自立を促進するため、教育支援・職業訓練・農村開発等の海外協力事業を実施する。特にネパールやラオスの災害被災者の復興支援、生活支援に尽くす。
- ・国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」に向けて事業を実施する。
- ・ボランティアを組織化し、国内活動の拡充を図る。

1. 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日・実施場所・その他詳細
(1) 国際協力事業	IV奨学金支給: ①カノック奨学金支給 日本全国より奨学金ドナーを募り、タイ、ラオスの子ども達と職業訓練生、計87名に奨学金を支給し、教育の底上げに寄与した。特に2019年度は水害被災者にも支援を広げた。	実施日時: 通年 実施場所: タイ・ラオス 従事者の人数: 2名 受益対象者の範囲及び人数: タイ40名(農村の小中学生)ラオス47名(職業訓練生)
	②チャンパー山の民奨学金支給 日本全国より奨学金ドナーを募り、訓練生20名分の奨学金を得た。ホスピタリティ・介護職業訓練が2020年3月10日からスタート、地方から参加した訓練生への奨学金支給を開始した。特に2019年度は水害被災者にも支援を広げた。ただし3月20日以降はコロナウイルスによる事業の一時停止に伴い、奨学金の支給をいったん中止。	実施日時: 通年 実施場所: ラオス 従事者の人数: 4名 受益対象者の範囲及び人数: 17名(第一期訓練生)
(2) 国際協力事業	ラオス木工職業訓練校における教育レベル向上プロジェクト(JICA草の根パートナー事業): ・2019年6月24日から8月30日にかけて、カウンターパートである職業教育開発機関(VEDI)木工実習室にて、VEDIと職業教育校の木工科教員を対象として、第2回主任トレーナー研修を実施した。日本からは、木工インストラクターとして石橋幸治氏、家具デザイン専門家として寺原芳彦氏(武蔵野美術大学名誉教授)、木材乾燥専門家として信田聡氏(東京大学元教授)をそれぞれラオスへ派遣した。参加者全員が全プログラムにおいて合格点を獲得することができた。 ・主任トレーナー研修のモニタリングを実施した。2019年11月から開始し2020年3月までにパイロット校10校中7校のモニタリングを終了した(残り3校については、政府からのコロナ感染予防のための休校措置が解除された後に実施予定)。モニタリングを実施したそれぞれの職業教育校では、主任トレーナー研修に参加した木工科教員が、主任トレーナー研修で学んだ木工技術を学生たちに熱心に伝えていた。 ・主任トレーナー研修の成果を伝える木工技術ビデオを作成し、パイロット校などの木工指導に活用された。 ・ラオス家具組合主催の家具フェアに3回参加し、本事業の広報活動を行った。	実施日時: 通年 実施場所: ラオス 従事者の人数: 8名 受益対象者の範囲及び人数: 14名 (VEDI木工トレーナー2名、県職業教育校木工トレーナー10名)

事業名	事業内容	実施日・実施場所・その他詳細
(3) 国際協力事業	地方の女性・青年の就業促進のためのホスピタリティ・介護職業訓練 (外務省NGO連携支援無償資金協力事業)： 本事業では、教育を受ける機会や経済的に恵まれないラオスの女性と青年を対象に、6か月間のホスピタリティ・介護の職業訓練を行い、ホテルなどへの就労による経済的な自立を目指す。今年度はホスピタリティ・介護職業訓練の校舎を建設した(2019年11月完成)。そして、2人の公務員(教師)をトレーナー候補として、それぞれ各3か月のホスピタリティ課程と介護課程の訓練を行った。(2019年9月～2020年2月)。トレーナー候補者のホスピタリティコースはサマセットホテルとことぶきクリーニング店に指導協力を頂き、介護コースはタイよりチェンマイ大学院元総婦長のスリニラム・プタヨット氏の指導で実施した。2020年3月10日からは、彼らが直接学生を教え始めたが、新型コロナウイルスのため、ラオス政府の指導で、3月20日に授業中止、学生は帰省。	実施日時：通年 実施場所：ラオス 従事者の人数：6名 受益対象者の範囲及び人数： 19名(トレーナー候補2名、第一期訓練生17名)
(4) 国際協力事業	教育施設建設事業(伊藤裕子基金)： 2019年度は諸事情で実施せず。	
(5) 国際協力事業	アタプー県水害被災者支援職業訓練事業(外務省NGO連携支援無償資金協力事業)： 2019年度は実施せず。	
(6) 国際協力事業	マイクロファイナンス事業(夢屋基金)： ラオス職業訓練所上級コース卒業生に対し、小規模資金を貸し付け、起業を促進する。2017年度に、Mr.リーヴォントーに木工訓練生第一号者としてマイクロファイナンスローン(以下、MFL)を支給し、契約通り2019年7月に完済した。 ・3月修了の上級コース3名から応募の問い合わせはあったが、最終的には申請はなく、実施せず。	実施日時：通年 実施場所：ラオス 従事者の人数：1名 受益対象者の範囲及び人数：1名(MFL受給者)
(7) 国際協力事業	ネパール教育支援(彩の国埼玉国際交流基金+他寄付金)： 日本からネパール・パティスワラ村へコーディネーター兼専門家ビナ・グルン氏を日本より派遣し、教育支援事業を行った。実施内容と成果は以下の通り。 1. 作業環境の改善 裁断用の机として大テーブルを2台、作業机として小テーブルを2台、イス30脚、ホワイトボード1枚等をそれぞれ導入したことにより、効率的かつ正確で安全な縫製・裁断の作業が可能となり、村の女性たちの製作物の質が向上した。 2. 職業訓練の実施 近隣の村から縫製・裁断のトレーナーを招聘し、村の女性グループ20名を対象とした3ヶ月間の縫製・裁断の職業訓練を実施し、その結果、訓練に参加した女性全員がニットセーター、サリーのブラウス、クルタ(襟無しワンピース)、シャツ、ズボン、スカート、肌着、子供服などの衣服を製作することができるようになった。これらの衣服や日用品を村内のローカルマーケットで販売開始することができた。 また、今回の訓練では藁やトウモロコシ皮のマット(座布団)など、伝統的なハンディクラフト製品作成の技術の指導も行った。その結果、村の女性グループは失われつつあった伝統工芸品作成の技術を習得することができた。またこれらの製品はすでに村外のローカルマーケットで販売が始まっており、彼女たちの新たな収入源を獲得することができた。	実施日時：2019年10月1日～2019年12月27日 実施場所：ネパール・ゴルカ郡・パティスワラ村 従事者の人数：2人 受益対象者の範囲及び人数： 20名(村の女性グループ)
(8) 国際協力事業	ネパールIV事務所開設準備： 2019年度は準備中。	

事業名	事業内容	実施日・実施場所・その他詳細
(9) 国際協力事業	ピエンチャンレスキュー消防車、救急車寄贈(埼玉県国際交流協会中古資機材供与事業): 2017度からの継続事業。ラオス車両受け取り団体であるピエンチャンレスキュー1623が、ラオス在外日本大使館の「草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)」に申請し、両車両の輸送費等を捻出。両車両は6月23日に横浜港を出港し、7月9日にラオス・タナレーン港に到着。同日中にピエンチャンレスキューの運転により彼らのステーションへの輸送が完了した。	実施日時:2019年4月～2020年3月 実施場所:ラオス・ピエンチャン 従事者の人数:3名 受益対象者の範囲及び人数: ピエンチャンレスキュー及びピエンチャン市民
(10) 国際協力事業	IVラオ日文化事業: ①4月29日キティサック国際学校で、英語落語の第一人者鹿鳴家英楽師匠の協力でお弟子さん2名と一緒に高座に上がり、ラオス人に落語を広報し大いに楽しんでもらった。 ②表千家茶道教室は毎月1回土曜日に開催、ラオス人をはじめ、日本人、外国人に茶道を通して日本文化の紹介を行った。	実施日時:通年 実施場所:ラオス・ピエンチャン 従事者の人数:2名 受益対象者の範囲及び人数:計200名
(1) 国際理解・開発教育事業	大学生インターン、スタディツアー、ボランティア受入(文京学院大学他): インターン、スタディツアー、ボランティア等を受け入れ、当会職業訓練事業の紹介を行い、プロジェクト等を通して国際協力への理解を深め、将来国際的に活躍する人材を育成を寄与する。実施実績は下記の通り。 ・7月8日～8月30日 ラオス国立大学インターン受入れ 2名 ・8月9日 早稲田大学ST受入れ 7名 ・8月17日～8月30日 文京学院大学インターン受入れ 2名 ・9月17日 龍谷大学ST受入れ 25名 ・10月15日 高岡万葉ロータリークラブ受入れ 8名 ・2020年2月3日～3月31日 ラオス国立大学インターン受入れ 2名 ・2020年2月12日 高崎経済大ST受入れ 9名	実施日時:通年 実施場所:ラオス・ピエンチャン 従事者の人数:3名 受益対象者の範囲及び人数: 計55名(インターン、スタディツアー参加者)
(2) 国際理解・開発教育事業	ボランティアとの協働(国内各種イベント出店): 日本国内各種イベントに出店し、ボランティアと協働しラオス雑貨の販売および当会の広報活動を行った。実施実績は下記の通り。 ・5月3日、4日 国際友好ふれあいフェア2019(見沼) ボランティア参加者:12名 ・5月18日、19日 板橋グリーンフェスタ2019(板橋) ボランティア参加者:8名 ・9月28日、29日 グローバルフェスタ2019(お台場) ボランティア参加者:10名 ・10月20日 国際フェア2019(さいたま新都心) ボランティア参加者:9名 ・10月26日 2019大宮区フェア(大宮ソニックシティ) ボランティア参加者:8名	実施日時:通年 実施場所:日本(主に埼玉県と東京都) 従事者の人数:1名(その他ボランティア) 受益者の対象者の範囲及び人数: 計47名(ボランティア参加者)および各種イベント来場者
(3) 国際理解・開発教育事業	第22回スタディツアー(ラオス): 日本から5名が2020年2月にラオスを訪れ、タソモ小学校やホスピタリティ・介護訓練事業の新校舎、ナーサイトン郡職業教育校等を視察し、現地の教育事情や国際協力についての理解促進を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。	
(4) 国際理解・開発教育事業	インターン生受け入れ(日本事務局): 9月11日、12日の2日間、日本事務局にて亜細亜大学の学生1名をインターン生として受け入れた。インターン生は主に、当会日本事務局の通常業務の補助や10月の国内各種国際フェア出展に向けた準備といった活動に従事し、それらの活動を通じて、日本国内におけるNGO活動に対する理解を深めた。	実施日時:通年 実施場所:ラオス・ピエンチャン 従事者の人数:1名 受益対象者の範囲及び人数:1名(インターン生)
(1) 文化交流事業	アジア文化理解講座: 2020年3月22日に大宮中部公民館調理室にてラオス料理教室を実施し、20名の参加者が見込まれていたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。	

事業名	事業内容	実施日・実施場所・その他詳細
<p>NPO/NGO のネットワー キング促進事 業</p>	<p>1. NPO法人 埼玉NGOネットワーク: 団体会員 2. (特活)国際協力NGOセンター (JANIC): 正会員 3. さいたま市国際NGOネットワーク: 団体会員 4. LAOS INGO Network(ラオス): 正会員 5. ジャパンプラットフォーム(JPF): 加盟団体(2019年末まで) 6. アジア・コミュニティ・トラスト: 登録団体 7. さいたま市大宮区市民活動ネットワーク 8. 彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク 監事団体</p>	<p>実施日時: 通年 実施場所: 日本全国、ラオス 従事者の人数: 2名</p>
<p>その他、この 法人の目的を 達成するた めに必要な事業</p>	<p>広報紙発行・活動報告、他: 会員及び一般市民に対する広報活動 1. IVニュース (7月31日、11月30日、3月31日発行) 2. ホームページ (年数回更新) 3. 日本国内各種イベント出展 4. NHKラジオ深夜便ラオスレポート 富永リポーター (4/20, 11/9, 2020.2/15) 5. NHKラジオ マイあさ アジアナウ 富永リポーター (5/20, 11/27, 2020.2/7) 6. 蕨高校グローバル人材育成授業(11/21 瀧口、講師として)</p>	<p>実施日時: 通年 実施場所: 日本事務所、ラオス事務所 従事者の人数: 4名 受益者の対象者の範囲及び人数: 会員、ホームページ閲覧者、イベント来場者、ラジオ 視聴者、その他</p>

2. 収益事業 なし